

令和3年度スタート！

はじめの一步 Re:スタート



旧陸軍兵器部倉庫沿いの桜

4月 隊朝礼



隊長による訓話



最先任上級曹長による教育

春風に桜舞い散るうらかな季節を迎え、隊は令和三年度の隊務をスタートした。

新年度も与えられた任務及びあらゆる事態に対応するため、全隊員がプロとしての自覚を保持し、「基本基礎の確行」と「進化無限」を胸に、後方支援隊として積極支援に邁進していく決意を新たにしました。



弘 師

編集発行者
第14 後方支援隊

令和3年 春号

要望事項
基本基礎の徹底
進化無限

主な記事

第一面	令和三年度 スタート	第五面	転入者紹介
第二面	新年度挨拶	第六面	部内配置替・ 昇任者等紹介
第三面	着任中隊長 挨拶		
第四面	幹部任官行事 優秀中隊長 表彰 ハリキリ		
W A C			

新年度挨拶

広報誌「こうしたい」やインターネットで本記事をご覧の隊員やご家族及び十四後支会会員の皆様、並びに全国の同僚や応援してくださる国民の方々におかれましては、平素から第十四後方支援隊の活動に対するご理解のもと、多大なるご支援・ご協力を頂戴しておりますこと心より感謝申し上げます。

第十四後方支援隊長の吉元一佐でございます。昨年十二月末より前隊長山本一佐の後任者として上番しております。さて、令和も三年目を迎え、私以下約四三〇名の隊員が四国内四つの駐屯地を主体として新年度を新たな気持ちでスタートしたところです。ご家族各位やOBの皆様に直接お会いしてお話したいところではあります。コロナ禍ゆえに機会は限られております。従いまして近況報告方々、新年度冒頭にあたり「ご挨拶申し上げます」。

我が国を取り巻く安全保障環境は国際政治や経済、宗教等に大きく影響を受けながら極めて流動的で、特に南西の島しょ部一帯における情勢は緊張感をはらんだものであり、他方、南海トラフ大地震や季節的な豪雨、鳥インフルエンザといった各種災害発生もいつときの油断も許されない、まさに「いつ何が」起きてもおかしくないといった緊張感をはらんだものであるといえます。

このような各種事態に即応・即動していく機動旅団をサポートする後方支援隊として改編され二年目を迎えた昨年度は、各種制約事項を克服しつつ兵站・衛生支援、部隊訓練に徹底して取り組み多大な成果を得ることができました。また、日本を遠く離れたジブチ共和国において現在8名の後方支援隊員が部隊を代表して活躍しているところです。

令和三年度は、昨年度に引き続き兵站・衛生支援に積極的に取り組み、どうすれば受益者にとって快適なサービスたりうるか？どうすればタイムリーな支援ができるかを自問しながら、サービスの「質と量と速度」にこだわっていきたいと考えています。また、年度中盤に実施が予定されている陸上自衛隊演習に向けて錬度を積み上げ、どんなタフな環境においても創意工夫をこらし「生き残り、かつ戦い、支援任務を全うする」部隊となるべく日々努力を継続する所存です。

われわれが任務必成に向けて邁進できますのも、ひとえに皆様のお支えがあつてのことです。昨年度に引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げますとともに、令和三年度が皆様にとつて実り多き輝かしい一年になることを祈念して「ご挨拶とさせていただきます」。

なお、令和三年度春号をもちまして、本広報紙「こうしたい」の名称を「弘師（こうし）」に改めることとしました。「後方支援隊（こうほうしえんたい）」の「こうし」と、四国一円を遍路され、現代の我々にも多大なる影響を与え続けている空海上人の諡号でもある「弘法大師」様のお名前から、二文字をお借りして表現したいと思つたためです。引き続き、第十四後方支援隊「弘師」をよろしく願ひいたします。



一等陸佐 吉元 雄一

着任中隊長等挨拶



本部付隊長

三等陸佐 大嶋 圭介

令和三年三月十五日付で本部付隊長に着任した大嶋三佐です。幹候期は08I、出身は兵庫県丹波市です。

この度、第七代本部付隊長を拝命し大変誇りに思うのと同時に、その重責に身の引き締まる思いです。

国際情勢に目を向ければ北朝鮮の弾道ミサイル強化、中国においては年間二十兆円超の国防費を計上する等、軍事を年々強化している状況であり、南西諸島防衛の重要性が益々増大しているものと認識しています。

この様な状況の中で、機動旅団の後方支援隊本部付隊として隊本部勤務班により隊の指揮・幕僚活動を支え、通信班をもって通信を構成・維持・運営し指揮の命脈を確保することは、後方支援隊の任務達成のため極めて重要であると認識しています。

このため、我々が恐らく赴くであろう「離島」においては、物資や資器材が不十分な中でも本部付隊として延いては後方支援隊として任務完遂できるよう教範事項に囚われることなく皆でアイデアを出し合い新たな戦い方及び支援要領等を創造するとともに失敗を恐れず挑戦し進化し続ける所存です。

私自身いついかなる任務が与えられても完遂し得るよう努力してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第二整備中隊長

三等陸佐 泉 卓良

令和三年三月十五日付で第二整備中隊長に着任した泉三佐です。幹候期は07B、出身は兵庫県宝塚市です。

前職は、第十二後方支援隊の第三科長で、群馬県の新町駐屯地で勤務しておりました。希望が叶い第十四後方支援隊で第二整備中隊長として勤務できることを大変光栄に思います。

第十四後方支援隊の一員として、皆様とともに隊の任務達成に貢献できるように努力していきたいと思えます。

さて、第二整備中隊は、第五十普通科連隊、第十四偵察隊及び第十四高射特科隊の直接支援を任務とし、各直接支援小隊を高知、善通寺、松山駐屯地に配置しています。着任から一ヶ月が経ち、それぞれの駐屯地において、各小隊が平素からの整備任務を完遂しつつ、さらなる練度の向上を図るため努力している姿を確認することができたとともに、第二整備中隊の役割を果たすためには、各支援機能を有する後方支援隊各中隊等との連携が必要不可欠であると改めて認識を深めたところです。

今年度も、03陸演等様々な事業があります。各中隊等と連携を図りつつ隊務を運営していく所存です。

様々な面でご支援、ご協力いただくこともあると思えますが、今後とも第二整備中隊をよろしく願います。



衛生隊長

三等陸佐 本荘 龍輝

令和三年三月十五日付で衛生隊長に着任した本荘三佐です。期別は10P、出身は愛知県です。

機動旅団の中で衛生機能の中核ともいえる旅団衛生隊の指揮官として勤務できることは、身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いであります。四国での勤務は初めてであり、指揮官という重責を自覚しつつ、四国での生活(うどん屋巡り等)も楽しみながら勤務させてもらっています。

衛生隊としては、コロナ禍において訓練等の実施に制約を受ける中、各部隊からの救護支援等の要望及び災害派遣等を含めたあらゆる事態に迅速に即応できるように、救護能力及び部隊の練度の向上に取り組みなければならぬと考えております。

そのため、平素から各隊員の医療技術等の個人の練度の向上を図るとともに、衛生隊としても各種事態発生に即応し、任務を完遂できる総合的な練度の向上を図っていく次第であります。その中で、後方支援隊の皆様との協力・連携が任務達成のため不可欠であると考えます。諸先輩及び後方支援隊各部隊の皆様におかれましては、引き続き、衛生隊に対するご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

幹部任官行事

隊は、令和三年三月十五日、善通寺駐屯地において幹部任官行事を挙行了した。

まず初めに、駐屯地から香色山山頂を往復する登山走を実施し、その後、駐屯地において各職種に応じた訓練を実施した。訓練終了後には後方支援隊員が見守る中、三等陸尉昇任辞令書交付、申告及び決意表明が実施され、幹部としての使命を自覚した。



令和二年度優秀中隊表彰

隊は、令和二年度優秀中隊表彰を実施した。

この表彰は、合規適正な業務を実施した部隊並びに各種検定等において優秀な成績を修めた部隊を表彰するもので、業務優秀は即応機動直接支援中隊、戦技優秀は第二整備中隊が獲得し、総合優秀中隊については即応機動直接支援中隊が獲得した。

総合優秀中隊

即応機動直接支援中隊

業務優秀中隊

即応機動直接支援中隊

戦技優秀中隊

第二整備中隊



ハリキリWAC

今回は第二整備中隊(高知)で装輪車整備手として活躍する、岡本^{おかもと}有未^{ゆみ} 陸士長です。



Q 出身地はどこですか?

A 島根県浜田市です。

Q 入隊の動機は何ですか?

A 地元以外で働きたかったからです。

Q 入隊して良かったことは?

A 沢山の人に出会えたことです。

Q 長所と短所は?

A 長所：明るいところ
短所：楽観的すぎるところ

Q 趣味は何ですか?

A 居酒屋巡りです。

Q 特技をおしえて下さい

A お酒を飲むことです。

Q 今一番したいことは?

A バイクを買うことです。

Q 今後の目標は?

A 強い女になることです。

Q 最後に一言お願いします。

A 一度きりの人生を謳歌していきたい
と思います。

祝 御栄転

隊本部

武器学校へ

三等陸佐 堀越 学

関西補給処へ

一等陸尉 浦上 秀一

本部付隊

北部方面情報隊へ

一等陸尉 江口 敏正

第一後方支援連隊へ

一等陸曹 庄司 泰大

関西補給処桂支処へ

三等陸曹 木村 一矢

第一整備中隊

武器学校へ

二等陸尉 古味 賢太郎

自衛隊体育学校へ

一等陸士 岩佐 正貴

第二整備中隊

関東補給処へ

三等陸佐 古賀 浩規

中部方面後方支援隊へ

一等陸曹 畠山 達也

第十四旅団司令部付隊へ

二等陸曹 花田 俊昭

補給中隊

自衛隊高知地方協力本部へ

三等陸曹 宮崎 桜子

輸送隊

輸送学校へ

三等陸曹 長谷川 亮平

衛生隊

自衛隊熊本病院へ

三等陸佐 日野 淳

第一後方支援連隊へ

一等陸尉 加藤 龍之介

第十四旅団司令部付隊へ

二等陸曹 宮本 伊万里

東部方面管制気象隊へ

陸士長 岡田 駿汰



正一位稻荷大明神の鳥居と桜

ようこそ

第十四後方支援隊へ

隊本部

第十後方支援連隊から

三等陸佐 小阪 仁司

駒門駐屯地業務隊から

一等陸尉 松木 友宏

第一整備中隊

中部方面後方支援隊から

二等陸尉 北田 武司

第二特殊武器防護隊から

三等陸尉 日野 誠吾

第二整備中隊

第十二後方支援隊から

三等陸佐 泉 卓良

第十四旅団司令部付隊から

陸曹長 中村 慎

関西補給処から

一等陸曹 森下 和彦

中部方面後方支援隊から

二等陸曹 岩田 康路

第二後方支援隊から

三等陸曹 伊藤 蒼竜

補給中隊

第八後方支援連隊から

三等陸曹 梅北 寿樹

第十五即応機動連隊から

三等陸曹 田村 寛大

輸送隊

自衛隊高知地方協力本部から

二等陸曹 樫山 宏幸

衛生隊

衛生学校から

三等陸佐 本荘 龍輝

阪神病院から

三等陸尉 深井 裕介

秋田駐屯地業務隊から

一等陸曹 奥田 敏久

東部方面衛生隊から

二等陸曹 兼平 淳一

中央病院付から

三等陸曹 種子田 隼

衛生学校付から

三等陸曹 田中 瑞希



正一位稻荷大明神の拝殿

部内配置換

隊本部へ

第一整備中隊

二等陸尉 川島達生

本部付隊へ

隊本部

三等陸佐 大嶋圭介

第二整備中隊

二等陸曹 貴島健太

補給中隊

二等陸曹 谷山浩司

第一整備中隊へ

第二整備中隊

二等陸曹 中落智仁

第二整備中隊へ

第一整備中隊

二等陸曹 土居内和彦

三等陸曹 松野康平

第三〇一特科直接支援隊へ

第一整備中隊

陸曹長 秦博

第二整備中隊

陸曹長 山田均

令和三年三月十三日付

第三〇一特科直接支援隊

陸曹長 近藤弘志

令和三年一月二十一日付

定年退職

任期満了退職

本部付隊

陸士長 大下瑛奈

第一整備中隊

陸士長 落合美咲

陸士長 田井伸治

第二整備中隊

陸士長 菓師神歩

即応機動直接支援中隊

陸士長 峪口良誠

補給中隊

陸士長 三上翼

陸士長 多田篤史

陸士長 枝本日菜子

陸士長 田中颯士

陸士長 河野文宏

陸士長 青地彩

輸送隊

陸士長 小西海人

陸士長 西前有紗

第三〇一特科直接支援隊

陸士長 後藤勇次郎

祝 任官・指定

三等陸尉へ

第一整備中隊

陸曹長 井筒亘

陸曹長 釘貫両

即応機動直接支援中隊

陸曹長 竹下優樹

補給中隊

陸曹長 石山翔大

陸曹長 井崎頌子

衛生隊

陸曹長 羽鳥健太郎

以上令和三年三月十三日付

幹部候補生陸曹長へ

補給中隊

三等陸曹 田中寛大

令和三年四月一日付

陸曹候補生指定

第二整備中隊

陸士長 橋本珠伊

陸士長 堤光輝

補給中隊

陸士長 吉松玲奈

以上令和三年二月一日付

入校予定者指定

衛生隊

陸士長 三好寛之

令和三年二月一日付

祝 昇任

三等陸曹へ

第一整備中隊

陸士長 松岡翔也

補給中隊

陸士長 山本幸治

以上令和三年四月一日付

陸士長へ

本部付隊

一等陸士 三輪耀太

第二整備中隊

一等陸士 浪越繁志

即応機動直接支援中隊

一等陸士 白井宏汰

補給中隊

一等陸士 亀滝奏人

衛生隊

一等陸士 花井愛美

第三〇一特科直接支援隊

一等陸士 大久保光太郎

以上令和三年四月一日付



善通寺五重塔